

磯村春子（いそむら）新聞記者。明治十一年福島縣生れ、大正七年一月二十一日没（一八七九—一九二八）。上京して結婚後、白木女子大専英文科を卒業。明治二十八年『報知新聞』記者となる。山川蒲路、江木榮子（欣）・國木田治子、長谷川晴雨、岡田八千代、稻馬良子（黒光）等當代著名婦人訪問記の他、街頭社會の女性風景を綴り、體驗記「婦人記者の十年」を附録とした『今の女』（大正二年七月十五日文明堂）と著した。長男の都市社會學者磯村英一の解説を附した復刻版『今の女』資料・明治女性誌』（昭和五十九年六月五日雄山閣出版）がある。

